

精華町人口ビジョン

平成27年10月

精華町

はじめに

わが国の総人口は、平成 20（2008）年から減少局面に転じており、減少のスピードが今後加速度的に高まっていくと予想されています。また、人口の構成では、少子化が進行しながら高齢化が急激に進行する状況にあります。人口減少が進み、少子高齢化が進行することにより、生産年齢人口が減少し、経済規模の縮小や社会保障費の増加など、さまざまな分野に深刻な影響を及ぼすことになります。

このような状況の中、政府は、地方の成長力を取り戻し、人口減少を克服するため、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、平成 26（2014）年 12 月には、国と地方が総力を挙げて取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および、長期ビジョンを実現するための今後 5 か年の目標や施策の基本的な方向、具体的な施策を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、まち・ひと・しごとの創生に総合的に取り組む方針を示しています。

本町においても、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の考え方を踏まえ、本町の人口の現状を分析し、人口に関する認識を町民と共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す「精華町人口ビジョン」を策定します。

目次

| | | |
|----------|-----------------------------|-----------|
| 1 | まとめ | 3 |
| | (1) 計画策定の背景及び趣旨 | 3 |
| | ①計画策定の背景 | 3 |
| | ②本計画の趣旨 | 3 |
| | (2) 分析結果のまとめ | 3 |
| | ①人口の現状のまとめ | 3 |
| | ②人口推計シミュレーション | 4 |
| 2 | 精華町の人口の現状 | 5 |
| | (1) 人口の推移 | 5 |
| | (2) 人口の自然増減の推移 | 6 |
| | (3) 合計特出生率の推移 | 7 |
| | (4) 有配偶率の推移 | 8 |
| | (5) 人口の社会増減の推移 | 9 |
| | (6) 年齢階級別の人口移動の状況 | 10 |
| | (7) 年齢階級別・男女別の人口移動の状況 | 11 |
| | (8) 人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響 | 13 |
| | (9) 産業別就業者数 | 14 |
| 3 | 精華町の人口の将来推計と分析 | 15 |
| | (1) 人口推計にあたっての仮定 | 15 |
| | ①出生率 | 15 |
| | ②移動率 | 15 |
| | (2) 独自推計の実施 | 18 |
| 4 | 精華町の将来展望 | 19 |
| | (1) 本町人口の将来展望 | 19 |
| | (2) 目標人口達成のためのまちづくりの方向性 | 21 |

1 まとめ

(1) 計画策定の背景及び趣旨

①計画策定の背景

- ・ 「人口減少と地域経済縮小の克服」を目的として、平成 26 年 12 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が政府により閣議決定されました。その後、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）第 8 条の規定に基づき、政府は各地方自治体に対して平成 27 年度中に「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定を要請しています。
- ・ 地方への新たな人の流れを生み出し、その好循環を支える“まち”に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出すことを目的に、精華町としても様々な政策を展開する必要があります。

②本計画の趣旨

- ・ 本計画では、各種統計データ等を活用した本町の現状分析やアンケート調査等による意向把握等基礎調査を実施するとともに、当該基礎調査の結果を基に、人口増減の要因や課題を明確にし、本町の将来人口推計、将来の展望及びそれを実現するための基本目標の設定などを行います。

(2) 分析結果のまとめ

①精華町における人口の現状のまとめ

■ 総人口の推移

- 総人口は 1980 年から現在まで増加し続けていますが、2005 年以降は増加スピードが鈍化しています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計データでは、今後、総人口は 2025 年まで微増し、その後減少すると見込まれています（本町が算出した独自推計は後述）。
- また、同データでは、生産年齢人口は 2005 年以降、横ばいから微減傾向になると見込まれており、老年人口は 2040 年まで増加し続けた後、維持・微減傾向になります。年少人口は 2006 年をピークとして減少しており、2015 年以降は老年人口を下回ると見込まれています。
- ベッドタウンの特徴である昼間人口が少なく、全国的にも下位（約 1,900 団体・地域中 1,866 位）に位置する。

■ 自然増減（出生及び死亡）

- 平成 7(1995)年以降、本町の人口は出生数が死亡数を上回っており、自然

増の状態が続いています。近年、死亡数は微増、出生数は微減傾向にあります。

- 本町の合計特殊出生率は、1998～2002年に一度上昇し、その後下降傾向にあります。
※合計特殊出生率は、「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。
- 女性と比較して、男性の方が全体的に有配偶率が低くなっています。

■ 社会増減（転入及び転出）

- 本町への転入数が転出数を上回るため、人口の社会増が続いていましたが、2007年以降は転入数と転出数との差が縮小しています。
- 年齢階級別の人口の移動状況では、30～44歳の層とその子供と考えられる0～9歳の層では、ともに転入超過になっています。一方、15～24歳の層では転出超過になっています。
- 男性の転入元は、20～29歳と30～39歳の層ともに、奈良県や京都府の近隣市町村が多く、女性の転入元も男性と同様の傾向です。
- 男性の転出先は近畿圏が大半を占めるものの、20～29歳の層では東京都への転出も目立ちます。女性の転出先は、男性の傾向とは異なり東京都への転出は限定的で、近隣市町村への転出が上位となっています。

②精華町における人口推計シミュレーション

■ 総人口の推計

- 総人口の本町が算出した独自推計値は次のとおりです。出生率を中位・高位①・高位②で3つ、移動率を中位・高位で2つ仮定し、これらを組み合わせ合わせた合計6つの推計を行いました。

| パターン | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 中位（移動）・中位（出生） | 35,626 | 36,543 | 37,037 | 37,222 | 37,203 | 36,951 | 36,408 | 35,649 | 34,647 | 33,325 | 31,762 |
| 中位（移動）・高位①（出生） | 35,626 | 36,789 | 37,526 | 37,948 | 38,459 | 38,754 | 39,055 | 39,231 | 39,164 | 38,830 | 38,350 |
| 中位（移動）・高位②（出生） | 35,626 | 36,789 | 37,526 | 37,948 | 38,192 | 38,196 | 37,919 | 37,469 | 36,799 | 35,824 | 34,640 |
| 高位（移動）・中位（出生） | 35,626 | 36,543 | 38,823 | 40,880 | 41,076 | 41,069 | 40,758 | 40,236 | 39,444 | 38,272 | 36,795 |
| 高位（移動）・高位①（出生） | 35,626 | 36,789 | 39,353 | 41,740 | 42,555 | 43,180 | 43,840 | 44,406 | 44,711 | 44,699 | 44,489 |
| 高位（移動）・高位②（出生） | 35,626 | 36,789 | 39,353 | 41,740 | 42,244 | 42,532 | 42,528 | 42,367 | 41,966 | 41,202 | 40,170 |

※推計に関する詳細な定義は「3 精華町の人口の将来推計と分析」に記載しています。

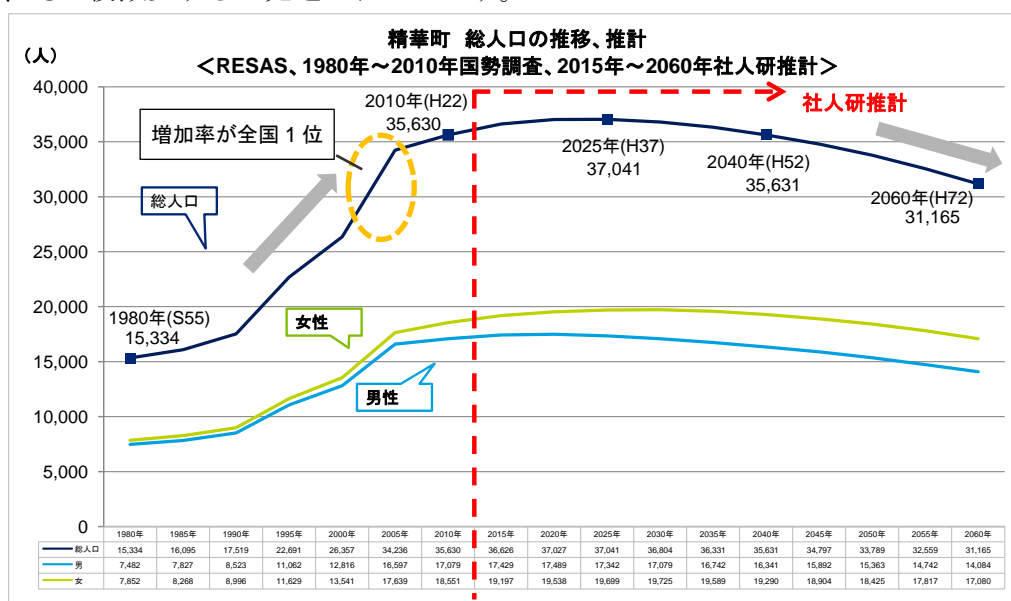
※上表の網掛けは人口のピークを示しています。

2 精華町の人口の現状

(1) 人口の推移

本町の総人口は1980年の15,334人から2010年には35,630人と30年間で約2万人増加しています。その間、平成17年国勢調査では、平成12年からの5年間の人口増加率が29.9%と全国1位の増加率を記録するなど、現在まで増加し続けていますが、2005年以降は増加のスピードが鈍化しています。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が発表している『日本の地域別将来推計人口』（平成25（2013）年3月推計）によると、今後、総人口は2025年まで微増し、その後減少すると見込まれています。

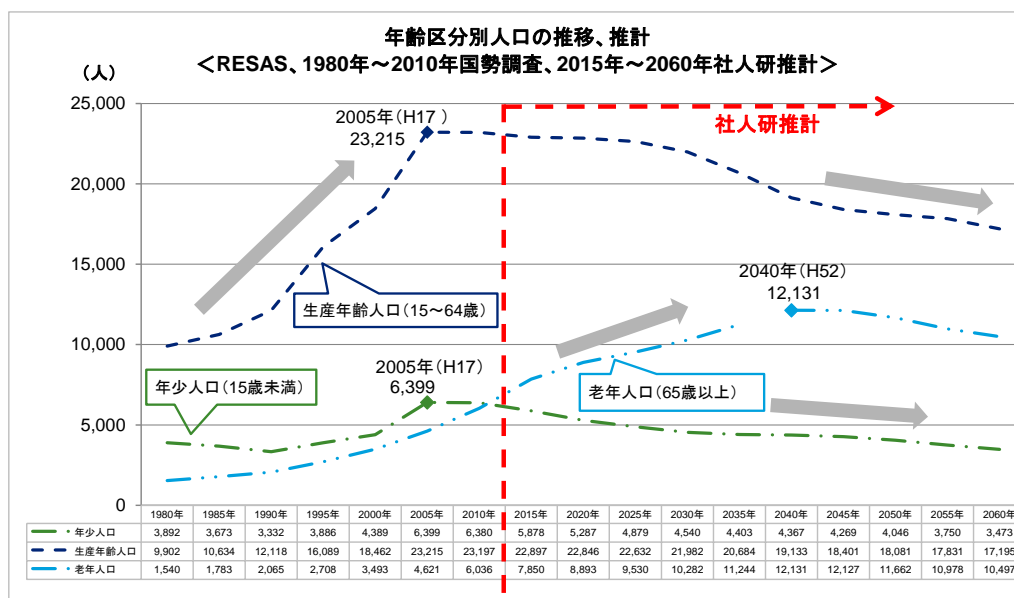


また、本町は京阪神地域のベッドタウンとしての特徴を有しており、昼間人口（昼間流入してくる人口）は少なく、昼間人口と夜間人口（当該地域に住んでいる人口）との差を示す昼夜間人口比率（（昼間人口／夜間人口）×100の数値で求められ、100より大きい場合は昼間人口が夜間人口を上回っていることを表す）を見ると、全国約1,900自治体・地域のうち、1,866位と下位であることがわかります。

山城地域市町村の昼夜間人口比率（平成22年国勢調査）

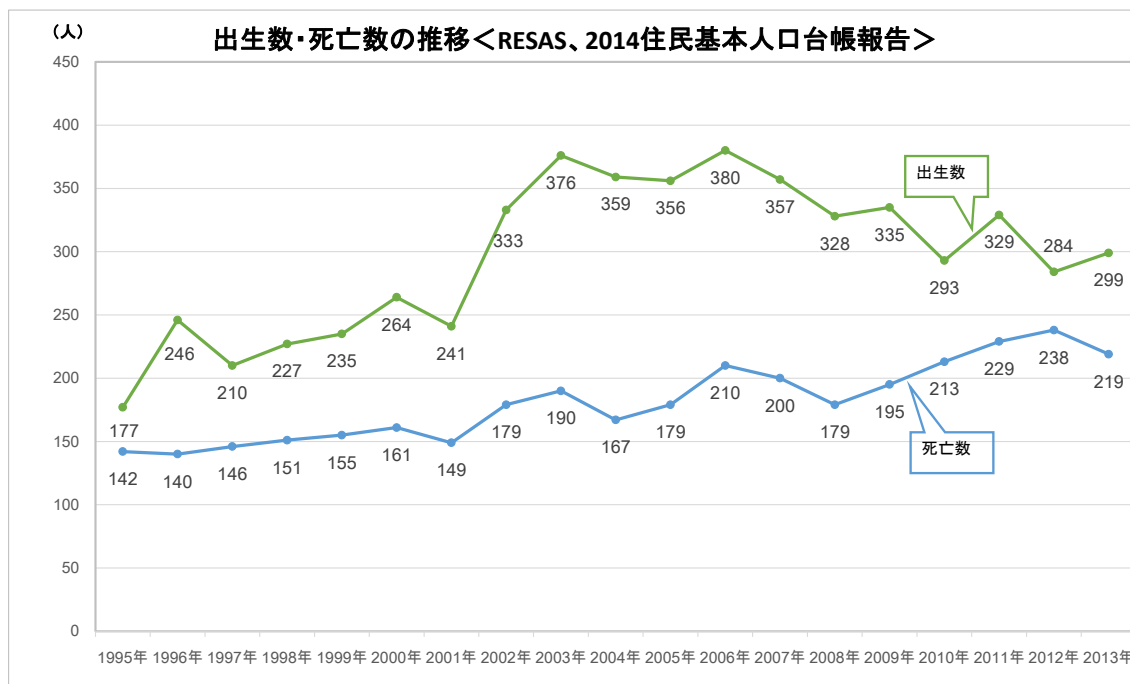
| 順位 | 市町村名 | 昼間人口数 | 夜間人口数 | 昼夜間人口比率(%) |
|------|-------|---------|---------|------------|
| 15 | 久御山町 | 27,825 | 15,914 | 174.8 |
| 276 | 京田辺市 | 70,334 | 67,910 | 103.6 |
| 796 | 宇治田原町 | 9,506 | 9,711 | 97.9 |
| 1235 | 長岡京市 | 73,548 | 79,844 | 92.1 |
| 1489 | 宇治市 | 166,555 | 189,609 | 87.8 |
| 1467 | 大山崎町 | 13,336 | 15,121 | 88.2 |
| 1511 | 井手町 | 7,385 | 8,447 | 87.4 |
| 1670 | 八幡市 | 62,301 | 74,227 | 83.9 |
| 1671 | 和束町 | 3,761 | 4,482 | 83.9 |
| 1741 | 笠置町 | 1,334 | 1,626 | 82.0 |
| 1777 | 城陽市 | 64,737 | 80,037 | 80.9 |
| 1815 | 南山城村 | 2,451 | 3,078 | 79.6 |
| 1825 | 木津川市 | 55,326 | 69,761 | 79.3 |
| 1845 | 向日市 | 42,533 | 54,328 | 78.3 |
| 1866 | 精華町 | 27,312 | 35,630 | 76.7 |

人口構成を見ると、生産年齢人口は2005年以降、横ばいから微減傾向になると見込まれており、老年人口は2040年まで増加し続けた後、維持・微減傾向になります。年少人口は2006年をピークとして減少しており、2015年以降は老年人口を下回ると見込まれています。



(2) 人口の自然増減の推移

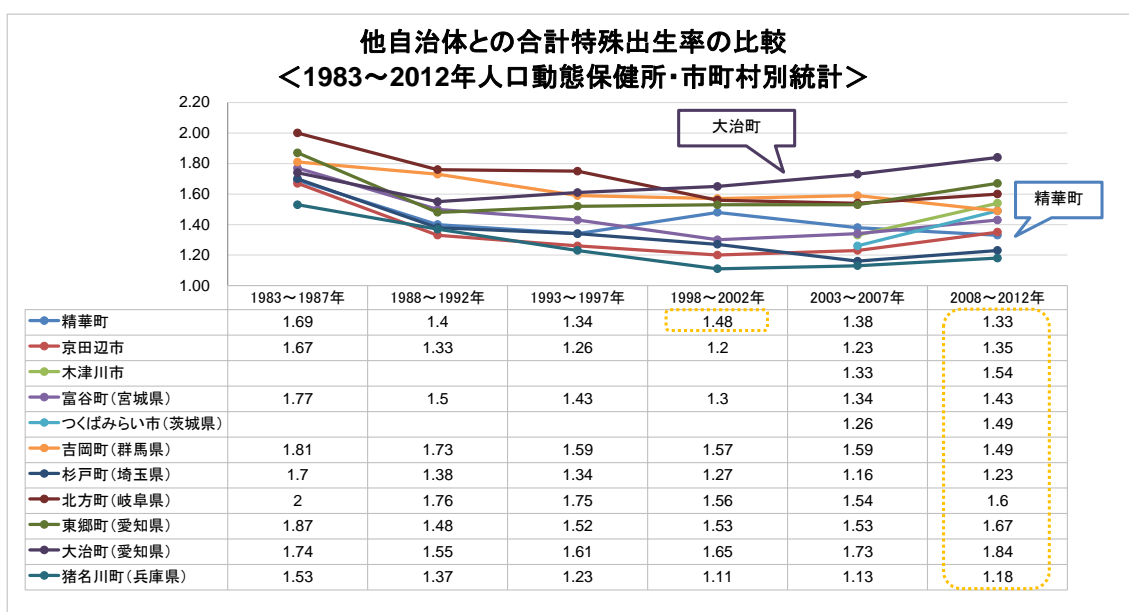
平成7(1995)年以降、本町の人口は出生数が死亡数を上回っており、自然増の状態が続いています。近年、死亡数は微増、出生数は微減傾向にあり、出生数と死亡数の差が縮まりつつあります。



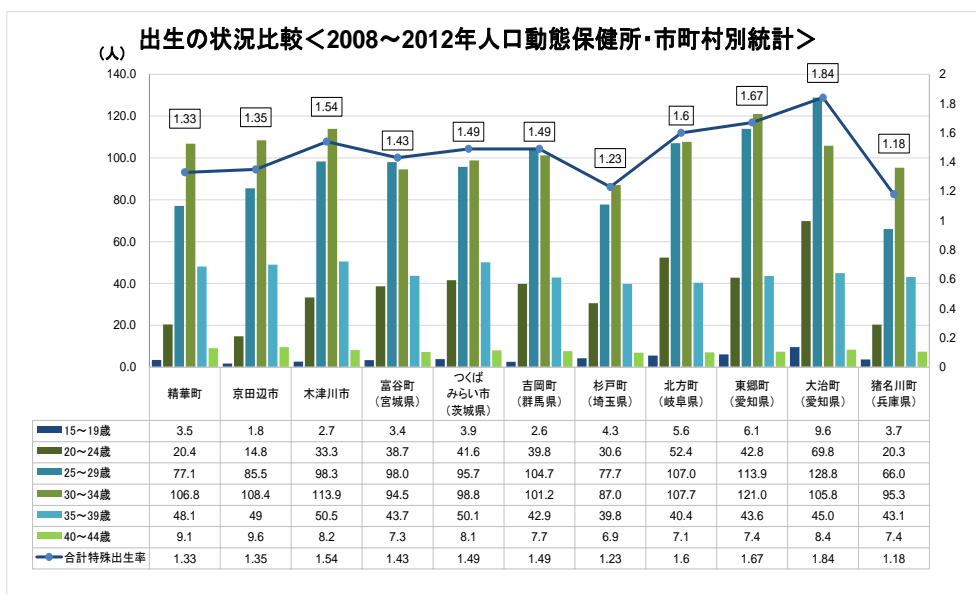
(3) 合計特殊出生率の推移

本町の合計特殊出生率は、1998～2002年に一度上昇し、その後下降傾向にあります。2008～2012年における本町の合計特殊出生率は、比較自治体の中で3番目に低い状況です。

※本町のデータを分析する上で、データを比較する10の自治体を選定しました。選定には、平成17年・平成22年の国勢調査の結果を使用しました。けいはんな学研都市の京田辺市・木津川市の2市および精華町の特性に似ているつくばみらい市（茨城県）・杉戸町（埼玉県）の2市町に加え、次の3つの条件に当てはまる富谷町（宮城県）・吉岡町（群馬県）・北方町（岐阜県）・東郷町（愛知県）・大治町（愛知県）・猪名川町（兵庫県）の6町を比較自治体としました。①平成17年から平成22年にかけて人口増減率が5%以上、②昼夜間人口比率が80%以下、③人口が1万人～5万人の町。



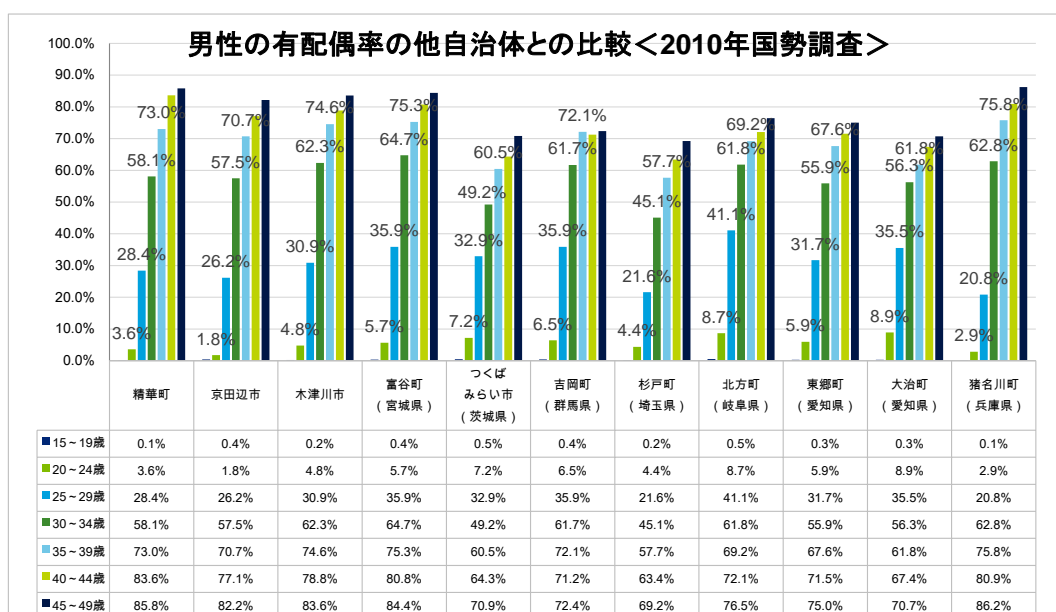
25～29歳の層における出生数は比較自治体の中で2番目に低いですが、30～34歳の層では5番目に高くなっており、年齢が上がるにつれ比較自治体並の数値に近づくことがわかります。

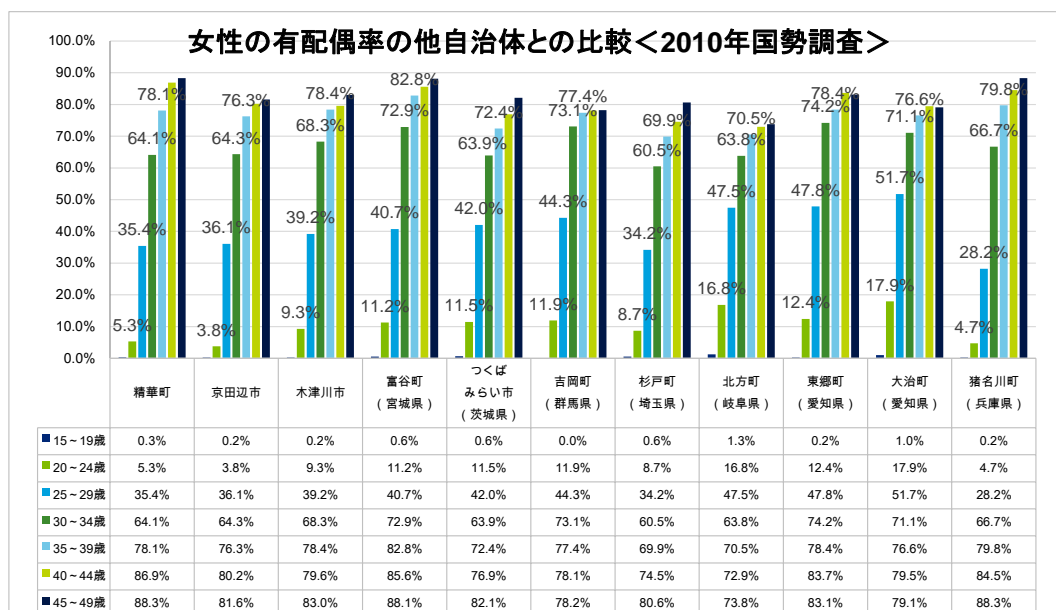


(4) 有配偶率の推移

女性と比較して、男性の方が全体的に有配偶率が低くなっています。男性の場合、40～49歳では、比較自治体の中で2番目に高い有配偶率です。

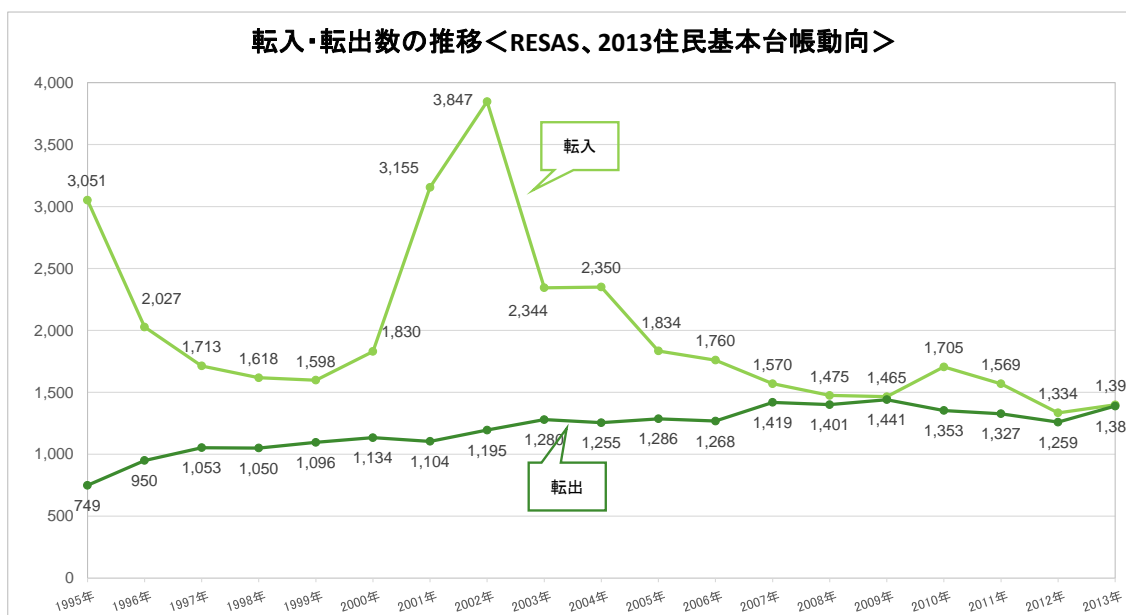
女性の場合、吉岡町や北方町、大治町と比較すると25～29歳時点での有配偶率は本町の方が低いです。35～39歳以降では本町の方が高くなっています。本町の45～49歳に着目すると、比較自治体の中で女性の有配偶率が最も高くなっています。





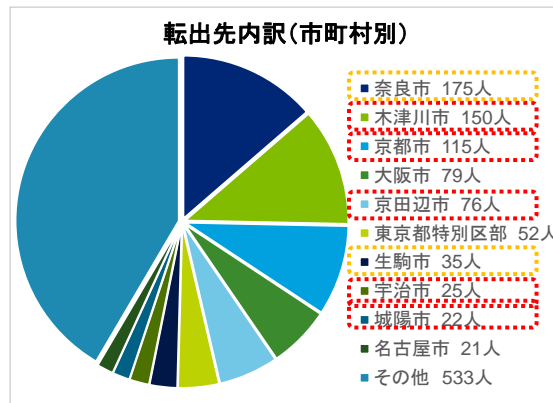
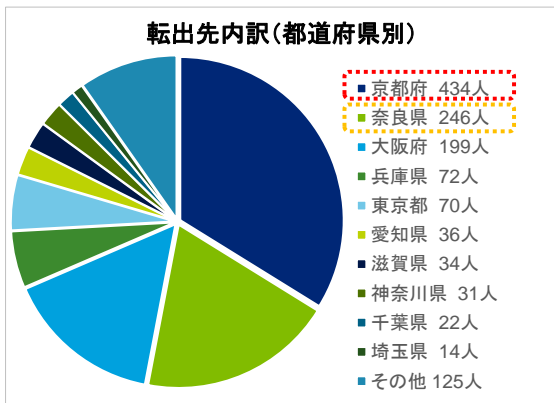
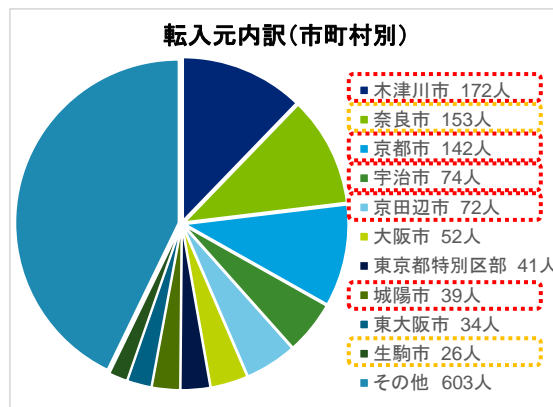
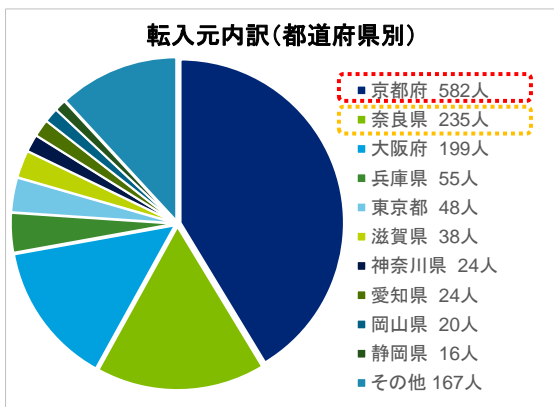
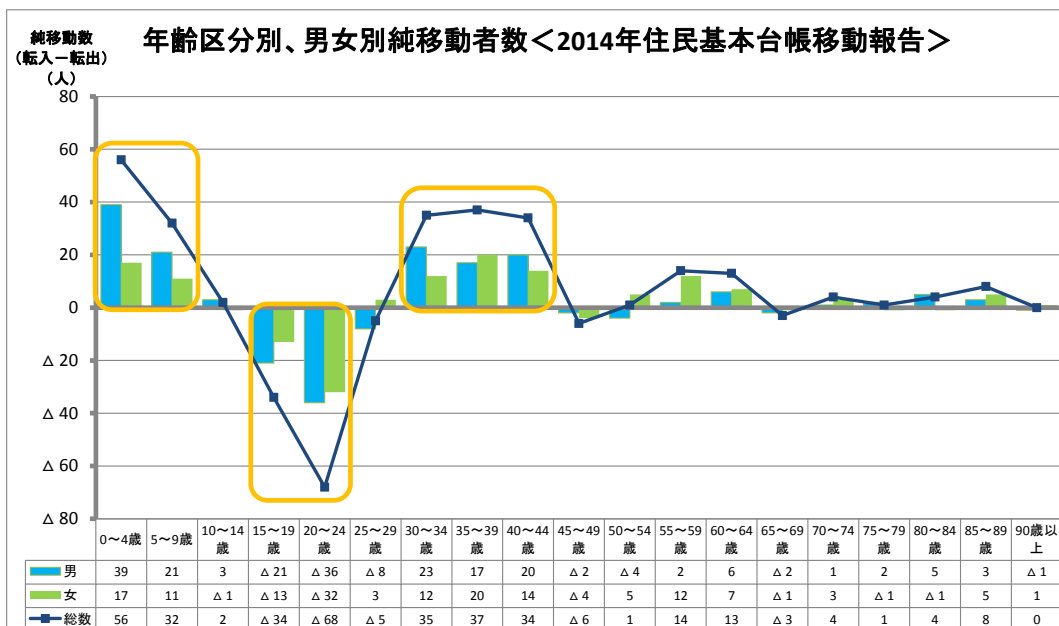
(5) 人口の社会増減の推移

本町への転入数が転出数を上回るため、人口の社会増が続いており、特に、全国1位の人口増加率を記録した2000年から2005年間の転入・転出の差は非常に大きいことがわかります。その後、2007年以降は転入数と転出数との差が縮小しており、2013年では転出・転入の差が+10人となっています。



(6) 年齢階級別の人口移動の状況

年齢階級別の人口の移動状況では、30～44歳の層とその子供と考えられる0～9歳の層では、ともに転入超過になっています。また、15～24歳の層では転出超過になっています。



(7) 年齢階級別・男女別の人口移動の状況

ア 転入の状況

男性の転入元は、20～29歳と30～39歳の層ともに、奈良市や京都府の近隣市町村が多く、女性の転入元も男性と同様の傾向です。

(男性)

| | 10～19歳 | | 20～29歳 | | 30～39歳 | |
|------|--------|-----|--------|------|--------|------|
| 第1位 | 木津川市 | 6人 | 木津川市 | 20人 | 奈良市 | 26人 |
| 第2位 | 岡山県 | 4人 | 京都市 | 16人 | 木津川市 | 23人 |
| 第3位 | 東京都 | 3人 | 奈良市 | 13人 | 京都市 | 17人 |
| 第4位 | 京都市 | 3人 | 京田辺市 | 9人 | 京田辺市 | 11人 |
| 第5位 | 宇治市 | 3人 | 滋賀県 | 8人 | 兵庫県 | 9人 |
| 第6位 | 奈良市 | 3人 | 大阪市 | 7人 | 大阪市 | 8人 |
| 第7位 | 岐阜県 | 2人 | 宇治市 | 6人 | 宇治市 | 8人 |
| 第8位 | 静岡県 | 2人 | 生駒市 | 6人 | 東京都 | 8人 |
| 第9位 | 枚方市 | 2人 | 東京都 | 5人 | 滋賀県 | 4人 |
| 第10位 | | | 福岡県 | 5人 | 愛知県 | 4人 |
| | その他 | 16人 | その他 | 79人 | その他 | 66人 |
| | 総数 | 44人 | 総数 | 174人 | 総数 | 184人 |

※各都道府県での合算
※東京都は特別区部

(女性)

| | 10～19歳 | | 20～29歳 | | 30～39歳 | |
|------|--------|-----|--------|------|--------|------|
| 第1位 | 奈良市 | 5人 | 京都市 | 30人 | 木津川市 | 20人 |
| 第2位 | 木津川市 | 3人 | 奈良市 | 22人 | 京都市 | 19人 |
| 第3位 | 宇治市 | 3人 | 木津川市 | 18人 | 奈良市 | 18人 |
| 第4位 | 京都市 | 2人 | 京田辺市 | 7人 | 京田辺市 | 13人 |
| 第5位 | 京田辺市 | 2人 | 兵庫県 | 7人 | 宇治市 | 10人 |
| 第6位 | 兵庫県 | 2人 | 滋賀県 | 7人 | 兵庫県 | 9人 |
| 第7位 | 八幡市 | 2人 | 大阪市 | 6人 | 大阪市 | 9人 |
| 第8位 | | | 東京都 | 6人 | 東京都 | 8人 |
| 第9位 | | | 城陽市 | 6人 | 生駒市 | 6人 |
| 第10位 | | | 枚方市 | 4人 | 愛知県 | 5人 |
| | その他 | 11人 | その他 | 62人 | その他 | 58人 |
| | 総数 | 30人 | 総数 | 175人 | 総数 | 175人 |

※各都道府県での合算
※東京都は特別区部

イ 転出の状況

男性の転出先は近畿圏が大半を占めるものの、20～29歳の層では東京都への転出が3位となっています。

女性の転出先の上位は、近隣市町村となっています。

(男性)

| | 10～19歳 | | 20～29歳 | | 30～39歳 | |
|------|--------|-----|--------|------|--------|------|
| 第1位 | 木津川市 | 7人 | 京都市 | 20人 | 木津川市 | 19人 |
| 第2位 | 奈良市 | 7人 | 木津川市 | 16人 | 京都市 | 15人 |
| 第3位 | 京田辺市 | 6人 | 東京都 | 15人 | 奈良市 | 15人 |
| 第4位 | 京都市 | 5人 | 奈良市 | 14人 | 大阪市 | 12人 |
| 第5位 | 兵庫県 | 4人 | 兵庫県 | 13人 | 京田辺市 | 11人 |
| 第6位 | 生駒市 | 3人 | 大阪市 | 12人 | 東京都 | 8人 |
| 第7位 | 東京都 | 2人 | 滋賀県 | 12人 | 兵庫県 | 7人 |
| 第8位 | 城陽市 | 2人 | 愛知県 | 10人 | 滋賀県 | 6人 |
| 第9位 | 神奈川県 | 2人 | 京田辺市 | 9人 | 愛知県 | 4人 |
| 第10位 | 岡山県 | 2人 | 神奈川県 | 6人 | 生駒市 | 4人 |
| | その他 | 22人 | その他 | 90人 | その他 | 43人 |
| | 総数 | 62人 | 総数 | 217人 | 総数 | 144人 |

※各都道府県での合算
※東京都は特別区部

(女性)

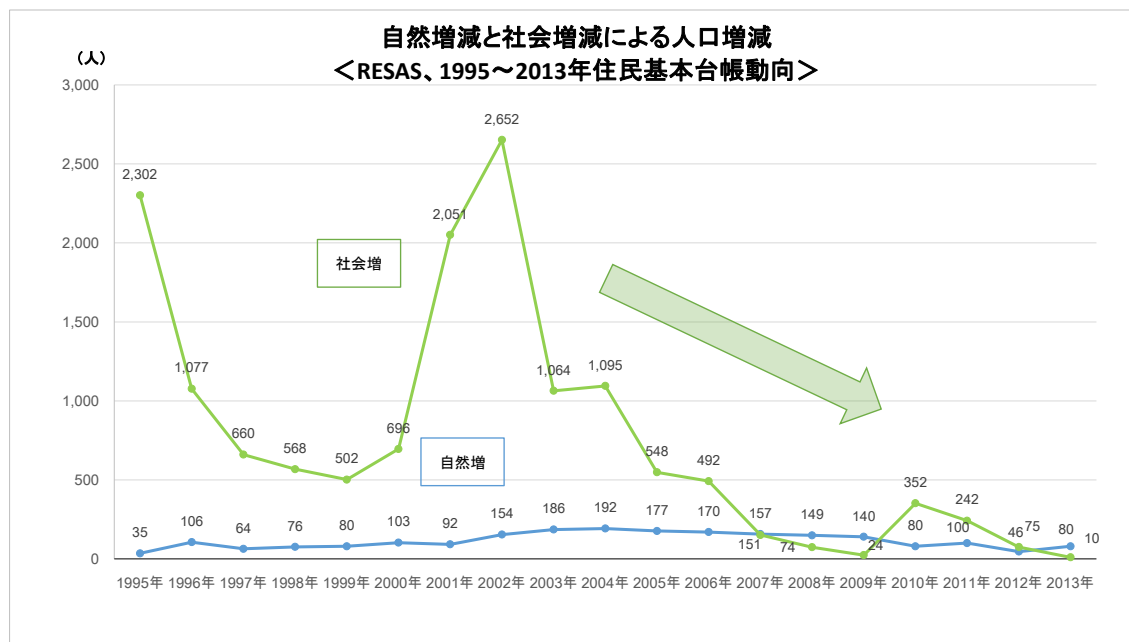
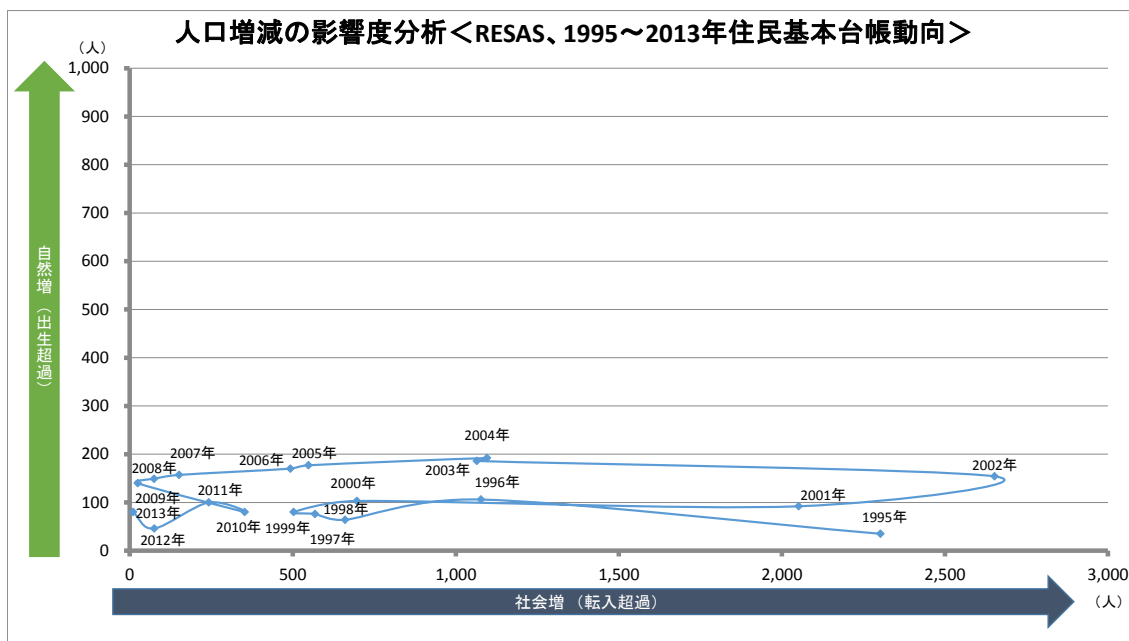
| | 10～19歳 | | 20～29歳 | | 30～39歳 | |
|------|--------|-----|--------|------|--------|------|
| 第1位 | 奈良市 | 12人 | 京都市 | 29人 | 木津川市 | 23人 |
| 第2位 | 木津川市 | 4人 | 大阪市 | 20人 | 奈良市 | 17人 |
| 第3位 | 京田辺市 | 3人 | 奈良市 | 19人 | 京都市 | 13人 |
| 第4位 | 愛知県 | 3人 | 木津川市 | 15人 | 大阪市 | 10人 |
| 第5位 | 京都市 | 2人 | 兵庫県 | 14人 | 兵庫県 | 9人 |
| 第6位 | 生駒市 | 2人 | 京田辺市 | 12人 | 京田辺市 | 7人 |
| 第7位 | 大阪市 | 2人 | 東京都 | 12人 | 東京都 | 7人 |
| 第8位 | | | 愛知県 | 6人 | 生駒市 | 5人 |
| 第9位 | | | 滋賀県 | 5人 | 城陽市 | 5人 |
| 第10位 | | | 神奈川県 | 5人 | 千葉県 | 4人 |
| | その他 | 16人 | その他 | 67人 | その他 | 44人 |
| | 総数 | 44人 | 総数 | 204人 | 総数 | 144人 |

※各都道府県での合算
※東京都は特別区部

(8) 人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響

自然増に関しては、1995年から2004年にかけて出生超過の増加傾向でしたが、2004年以降は減少傾向にあります。

社会増に関しては、1995年以降転入超過が続いていましたが、近年はその増加幅が縮小してきています。



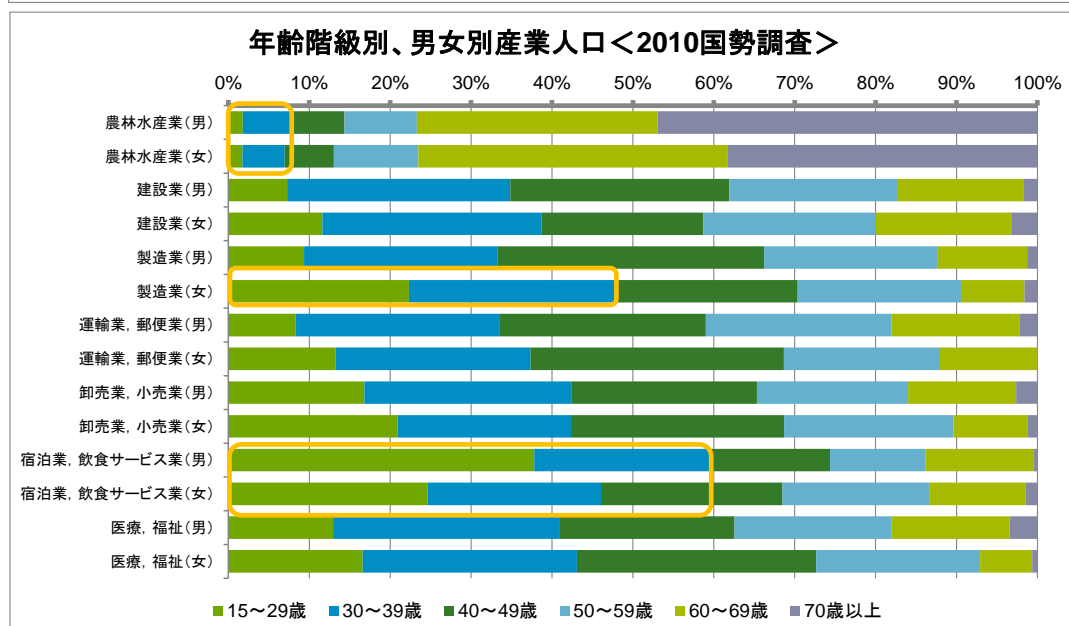
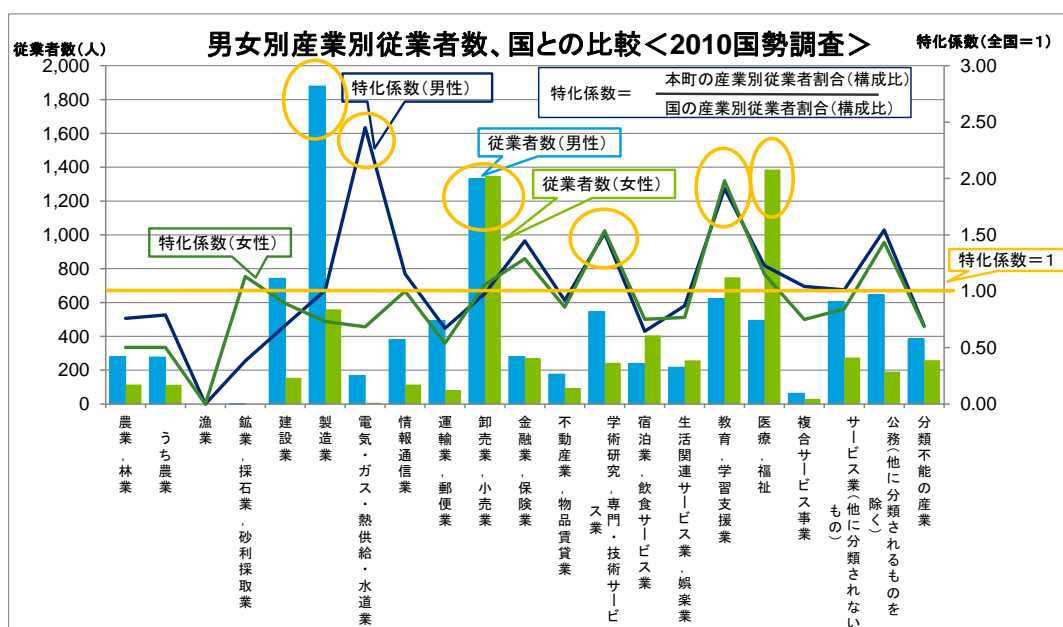
(9) 産業別就業者数

従事者数では、男性は「製造業」・「卸売業、小売業」が、女性は「卸売業、小売業」・「医療、福祉」が多くなっています。

特化係数で見ると、男性の場合「電気、ガス、熱供給、水道業」が非常に高く、男性女性ともに本町の特徴である「学術研究、専門・技術サービス業」と「教育、学習支援業」が高いことがわかります。

※特化係数とは、産業の業種構成などにおいて、その構成比を全国の構成比と比較したものです。特化係数が1に近いほど全国の水準に近く、1を超えると全国の水準より比重が高いことを示します。

年齢層では、15～39歳の層で「農林水産業」への従事者割合が男女ともに低く、「宿泊業、飲食サービス業」は高くなっており、女性の15～39歳の層では、「製造業」の従事者割合が高く、雇用の多くを吸収していることがわかります。



3 精華町の人口の将来推計と分析

(1) 人口推計にあたっての仮定

次に、将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析のため、独自推計については、以下の仮定値をもとに推計を実施しました。

出生率は、直近の本町の数値、国の目指すべき数値、けいはんな学研都市の他市の数値から算出しています。

移動率は、男女ともに、どの時代においても10～20代は転出超過の傾向があり、50代以降では横ばい傾向がみられます。

①出生率

合計特殊出生率は直近数値は以下のとおりです（住民基本台帳・毎年ベース）。

中位： 直近の合計特殊出生率が継続すると仮定

高位①：国の目指すべき出生率となると仮定（なお、2025年までは木津川市の値まで上昇すると仮定）

高位②：学研都市の中で最も高い出生率の木津川市の値まで上昇すると仮定

<推計に用いた合計特殊出生率>

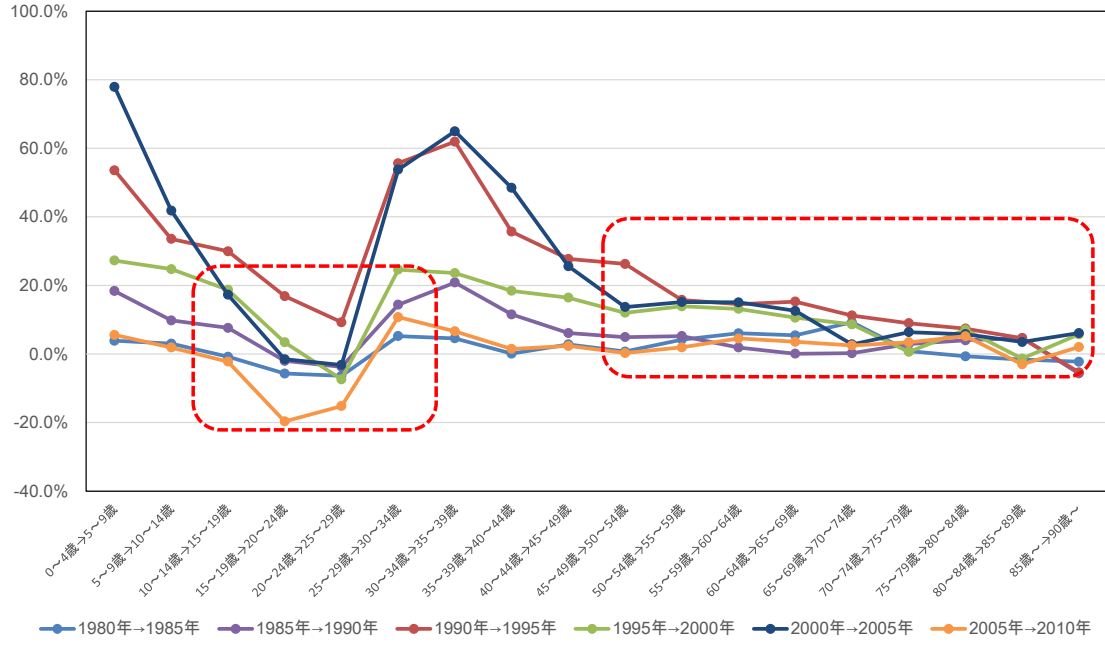
| | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高位① | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.80 | 1.80 | 2.07 | 2.07 | 2.07 | 2.07 | 2.07 |
| 高位② | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 | 1.54 |
| 中位 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 | 1.33 |

②移動率

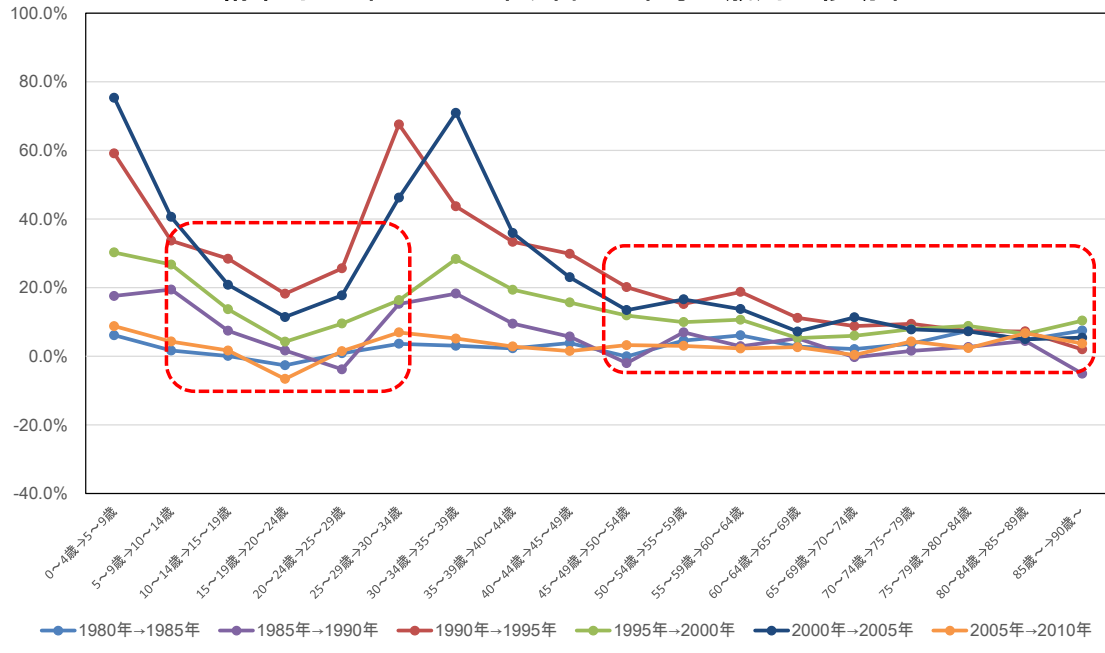
精華町の男女別、5歳別人口の1980年以降の5年ごとの移動率を表したものが以下となっています。男性では、高校卒業・大学卒業から就職するタイミングであると考えられる「15～19歳→20～24歳」の移動率について、直近の値では-20%程度となっており、転出超過であることがわかります。その一方で「30～34歳→35～39歳」「35～39歳→40～44歳」などでは、0%よりも上に位置しているため、転入傾向であることがわかります。

女性では「15～19歳→20～24歳」の移動率の転出傾向は男性ほどではなく、全年齢を通して転入傾向となっています。

精華町 男性の1980年以降の5年毎・5歳別の移動率



精華町 女性の1980年以降の5年毎・5歳別の移動率



これらの移動率分析を踏まえ、以下のような仮定のもと、独自推計を実施しました。

中位：直近移動率がこのまま続くと仮定

高位：人口の増加が著しい1990年→1995年、1995年→2000年、2000年→2005年を除いた、1980年→1985年、1985年→1990年、2005年→2010年の3つの期間のうち、若年層（50歳未満）の移動率をこの3つの期間で最も高い数値とし、それ以外は直近の移動が続くと仮定

※なお、上述の高位の移動率は2015年→2020年、2020年→2025年の2つの期間、2010年→2015年と2025年以降は中位（直近の移動率）が続くとする。

<推計に用いた移動率>

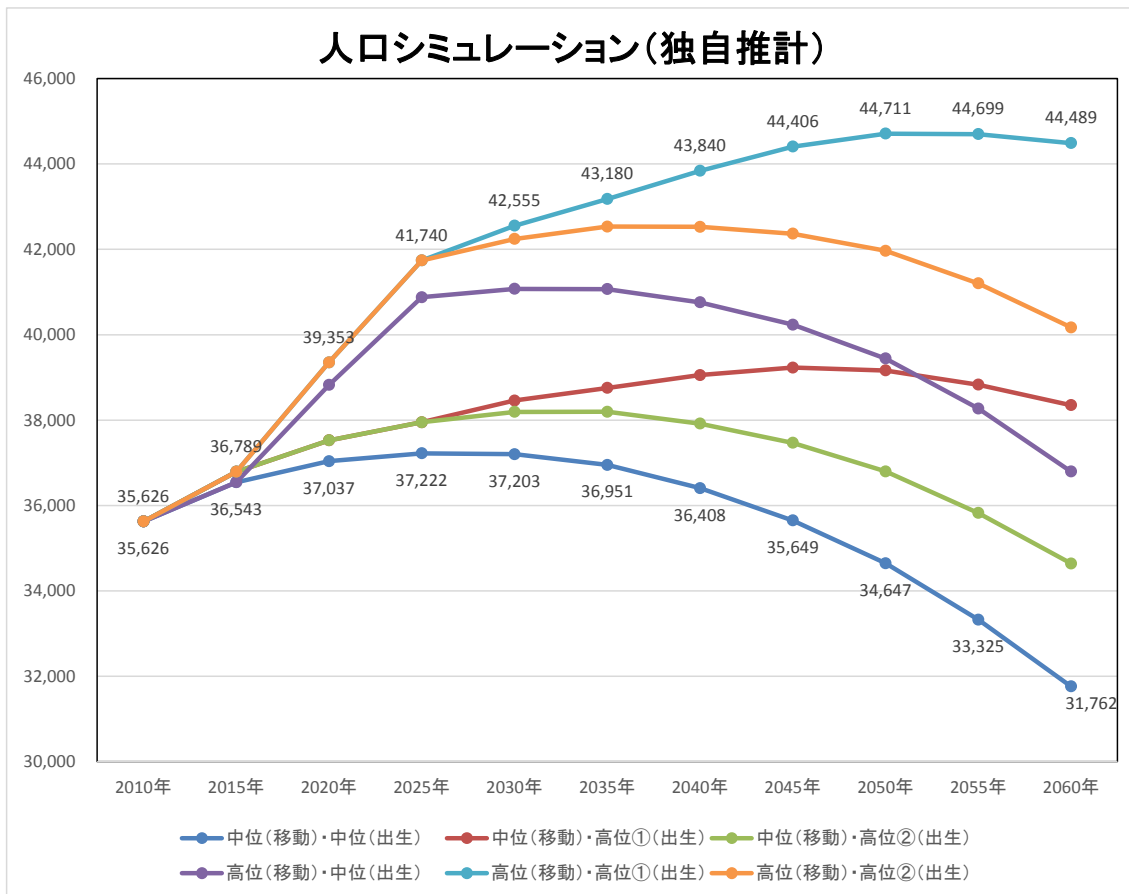
| 男 | 高位 | 中位 | 女 | 高位 | 中位 |
|---------------|-------|--------|---------------|-------|-------|
| 0～4歳→5～9歳 | 18.4% | 5.6% | 0～4歳→5～9歳 | 17.6% | 8.8% |
| 5～9歳→10～14歳 | 9.8% | 1.9% | 5～9歳→10～14歳 | 19.5% | 4.3% |
| 10～14歳→15～19歳 | 7.6% | -2.2% | 10～14歳→15～19歳 | 7.4% | 1.7% |
| 15～19歳→20～24歳 | -2.0% | -19.6% | 15～19歳→20～24歳 | 1.7% | -6.6% |
| 20～24歳→25～29歳 | -3.7% | -15.2% | 20～24歳→25～29歳 | 1.5% | 1.5% |
| 25～29歳→30～34歳 | 14.4% | 10.8% | 25～29歳→30～34歳 | 15.3% | 7.0% |
| 30～34歳→35～39歳 | 20.8% | 6.6% | 30～34歳→35～39歳 | 18.3% | 5.2% |
| 35～39歳→40～44歳 | 11.5% | 1.5% | 35～39歳→40～44歳 | 9.5% | 2.9% |
| 40～44歳→45～49歳 | 6.1% | 2.3% | 40～44歳→45～49歳 | 5.8% | 1.5% |
| 45～49歳→50～54歳 | 4.9% | 0.3% | 45～49歳→50～54歳 | 3.2% | 3.2% |
| 50～54歳→55～59歳 | 1.9% | 1.9% | 50～54歳→55～59歳 | 3.1% | 3.1% |
| 55～59歳→60～64歳 | 4.5% | 4.5% | 55～59歳→60～64歳 | 2.3% | 2.3% |
| 60～64歳→65～69歳 | 3.5% | 3.5% | 60～64歳→65～69歳 | 2.7% | 2.7% |
| 65～69歳→70～74歳 | 2.5% | 2.5% | 65～69歳→70～74歳 | 0.4% | 0.4% |
| 70～74歳→75～79歳 | 3.4% | 3.4% | 70～74歳→75～79歳 | 4.4% | 4.4% |
| 75～79歳→80～84歳 | 5.2% | 5.2% | 75～79歳→80～84歳 | 2.4% | 2.4% |
| 80～84歳→85～89歳 | -3.0% | -3.0% | 80～84歳→85～89歳 | 6.7% | 6.7% |
| 85歳～→90歳～ | 2.0% | 2.0% | 85歳～→90歳～ | 3.8% | 3.8% |

※プラスが転入超過、マイナス（赤字）が転出超過を表します。

(2) 独自推計の実施

合計特殊出生率（中位・高位①・高位②）×移動率（中位・高位）の独自推計6パターンの結果が以下のものとなっています。

独自推計において、人口増減率をみると、移動率「高位」を使っているものが人口減少率が抑制されており、移動率が人口動態に大きな影響を与えています。



<人口>

| パターン | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 中位(移動)・中位(出生) | 35,626 | 36,543 | 37,037 | 37,222 | 37,203 | 36,951 | 36,408 | 35,649 | 34,647 | 33,325 | 31,762 |
| 中位(移動)・高位①(出生) | 35,626 | 36,789 | 37,526 | 37,948 | 38,459 | 38,754 | 39,055 | 39,231 | 39,164 | 38,830 | 38,350 |
| 中位(移動)・高位②(出生) | 35,626 | 36,789 | 37,526 | 37,948 | 38,192 | 38,196 | 37,919 | 37,469 | 36,799 | 35,824 | 34,640 |
| 高位(移動)・中位(出生) | 35,626 | 36,543 | 38,823 | 40,880 | 41,076 | 41,069 | 40,758 | 40,236 | 39,444 | 38,272 | 36,795 |
| 高位(移動)・高位①(出生) | 35,626 | 36,789 | 39,353 | 41,740 | 42,555 | 43,180 | 43,840 | 44,406 | 44,711 | 44,699 | 44,489 |
| 高位(移動)・高位②(出生) | 35,626 | 36,789 | 39,353 | 41,740 | 42,244 | 42,532 | 42,528 | 42,367 | 41,966 | 41,202 | 40,170 |

※網掛けは人口のピーク

<増減割合>

| パターン | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 中位(移動)・中位(出生) | - | 2.6% | 4.0% | 4.5% | 4.4% | 3.7% | 2.2% | 0.1% | -2.7% | -6.5% | -10.8% |
| 中位(移動)・高位①(出生) | - | 3.3% | 5.3% | 6.5% | 8.0% | 8.8% | 9.6% | 10.1% | 9.9% | 9.0% | 7.6% |
| 中位(移動)・高位②(出生) | - | 3.3% | 5.3% | 6.5% | 7.2% | 7.2% | 6.4% | 5.2% | 3.3% | 0.6% | -2.8% |
| 高位(移動)・中位(出生) | - | 2.6% | 9.0% | 14.7% | 15.3% | 15.3% | 14.4% | 12.9% | 10.7% | 7.4% | 3.3% |
| 高位(移動)・高位①(出生) | - | 3.3% | 10.5% | 17.2% | 19.4% | 21.2% | 23.1% | 24.6% | 25.5% | 25.5% | 24.9% |
| 高位(移動)・高位②(出生) | - | 3.3% | 10.5% | 17.2% | 18.6% | 19.4% | 19.4% | 18.9% | 17.8% | 15.7% | 12.8% |

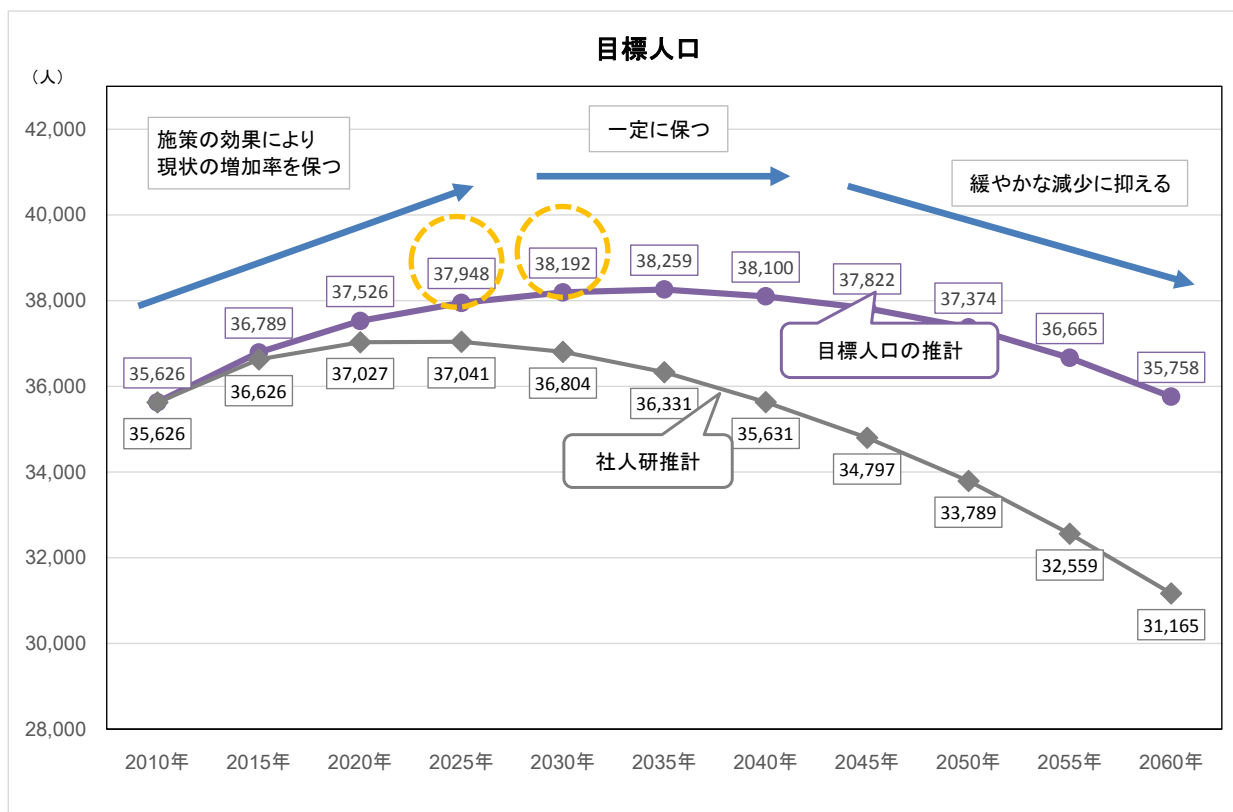
4 精華町の将来展望

(1) 本町人口の将来展望

先に示した人口推計のパターンのうち、第5次精華町総合計画において目指している人口規模や今後の施策展開およびまちづくりの目標を総合的に勘案し、以下の目標人口を設定します。

目標人口の考え方

- ・目標人口：精華町第5次総合計画における将来人口4万人を上限として、現時点における住宅開発の状況等を勘案したうえでの推計を行い、2022年（総合計画最終年）に3.8万人程度を目指す。また、2030年～2040年は3.8万人程度を維持し、2045年以降は緩やかな減少に抑える。
- ※前ページの人口シミュレーション「中位（移動）・高位②（出生）」をベースに、2035年以降、出生率が国の算定した希望出生率（1.8）に徐々に近づくとし、推計を行った。
- ・若者の流出を抑制するとともにUターンを促す。
- ・宅地開発による転入者の増加を図り続けることは困難であることから、出生率を高める施策を随時実施していく。



【目標人口の推計結果に基づく年齢3区分別人口割合】

| | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0～14歳割合 | 17.9% | 16.3% | 14.8% | 14.0% | 13.3% | 13.3% | 13.8% | 14.3% | 14.4% | 14.5% | 14.5% |
| 15～64歳割合 | 65.1% | 62.2% | 60.7% | 59.3% | 57.5% | 54.3% | 50.6% | 49.3% | 49.5% | 50.3% | 51.3% |
| 65歳以上割合 | 16.9% | 21.5% | 24.5% | 26.6% | 29.2% | 32.4% | 35.6% | 36.4% | 36.1% | 35.2% | 34.2% |
| 75歳以上割合 | 7.0% | 8.7% | 11.3% | 14.9% | 16.9% | 17.8% | 19.2% | 21.6% | 24.3% | 24.5% | 23.2% |

【目標人口の推計結果】

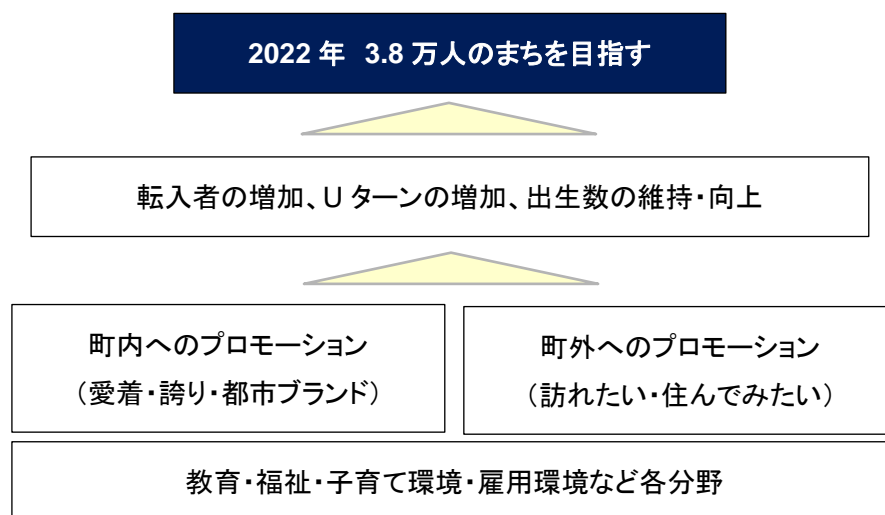
| 合計 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | 35,626 | 36,789 | 37,526 | 37,948 | 38,192 | 38,259 | 38,100 | 37,822 | 37,374 | 36,665 | 35,758 |
| 0～4歳 | 1,796 | 1,804 | 1,656 | 1,566 | 1,580 | 1,676 | 1,714 | 1,717 | 1,663 | 1,631 | 1,621 |
| 5～9歳 | 2,194 | 1,923 | 1,931 | 1,773 | 1,676 | 1,692 | 1,795 | 1,835 | 1,838 | 1,781 | 1,746 |
| 10～14歳 | 2,390 | 2,260 | 1,982 | 1,990 | 1,828 | 1,727 | 1,744 | 1,849 | 1,891 | 1,895 | 1,835 |
| 15～19歳 | 2,019 | 2,382 | 2,253 | 1,977 | 1,984 | 1,822 | 1,722 | 1,739 | 1,844 | 1,886 | 1,889 |
| 20～24歳 | 1,695 | 1,750 | 2,067 | 1,957 | 1,720 | 1,724 | 1,584 | 1,497 | 1,511 | 1,602 | 1,639 |
| 25～29歳 | 1,656 | 1,588 | 1,637 | 1,936 | 1,834 | 1,615 | 1,617 | 1,485 | 1,404 | 1,417 | 1,503 |
| 30～34歳 | 2,168 | 1,796 | 1,720 | 1,773 | 2,097 | 1,986 | 1,749 | 1,752 | 1,609 | 1,521 | 1,535 |
| 35～39歳 | 3,042 | 2,289 | 1,896 | 1,815 | 1,872 | 2,214 | 2,097 | 1,846 | 1,849 | 1,698 | 1,605 |
| 40～44歳 | 2,934 | 3,096 | 2,329 | 1,930 | 1,849 | 1,907 | 2,256 | 2,137 | 1,882 | 1,885 | 1,731 |
| 45～49歳 | 2,511 | 2,971 | 3,136 | 2,360 | 1,956 | 1,874 | 1,933 | 2,287 | 2,166 | 1,907 | 1,910 |
| 50～54歳 | 2,144 | 2,530 | 2,995 | 3,165 | 2,382 | 1,976 | 1,896 | 1,955 | 2,313 | 2,191 | 1,930 |
| 55～59歳 | 2,304 | 2,163 | 2,554 | 3,026 | 3,201 | 2,410 | 2,000 | 1,921 | 1,981 | 2,344 | 2,220 |
| 60～64歳 | 2,735 | 2,325 | 2,185 | 2,583 | 3,063 | 3,241 | 2,442 | 2,027 | 1,946 | 2,006 | 2,374 |
| 65～69歳 | 2,088 | 2,728 | 2,323 | 2,187 | 2,588 | 3,072 | 3,254 | 2,451 | 2,035 | 1,954 | 2,015 |
| 70～74歳 | 1,461 | 2,001 | 2,625 | 2,241 | 2,114 | 2,506 | 2,980 | 3,158 | 2,378 | 1,975 | 1,898 |
| 75～79歳 | 1,065 | 1,371 | 1,894 | 2,505 | 2,145 | 2,031 | 2,415 | 2,874 | 3,049 | 2,294 | 1,908 |
| 80～84歳 | 761 | 926 | 1,200 | 1,676 | 2,242 | 1,932 | 1,841 | 2,188 | 2,605 | 2,767 | 2,081 |
| 85～89歳 | 411 | 567 | 705 | 915 | 1,305 | 1,784 | 1,551 | 1,479 | 1,758 | 2,096 | 2,237 |
| 90歳以上 | 252 | 320 | 437 | 574 | 757 | 1,068 | 1,511 | 1,625 | 1,652 | 1,814 | 2,080 |

| 男性 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | 17,078 | 17,444 | 17,548 | 17,460 | 17,290 | 17,064 | 16,785 | 16,472 | 16,070 | 15,552 | 14,984 |
| 0～4歳 | 908 | 926 | 850 | 803 | 811 | 860 | 879 | 881 | 853 | 837 | 832 |
| 5～9歳 | 1,119 | 958 | 976 | 897 | 847 | 856 | 907 | 928 | 929 | 900 | 883 |
| 10～14歳 | 1,213 | 1,140 | 975 | 994 | 913 | 863 | 871 | 924 | 945 | 947 | 917 |
| 15～19歳 | 1,020 | 1,185 | 1,114 | 953 | 972 | 892 | 844 | 852 | 903 | 924 | 925 |
| 20～24歳 | 775 | 818 | 950 | 893 | 764 | 779 | 716 | 677 | 683 | 724 | 741 |
| 25～29歳 | 744 | 655 | 691 | 804 | 755 | 646 | 659 | 605 | 572 | 578 | 613 |
| 30～34歳 | 1,031 | 822 | 724 | 764 | 888 | 834 | 714 | 728 | 669 | 632 | 638 |
| 35～39歳 | 1,422 | 1,095 | 873 | 769 | 812 | 944 | 887 | 759 | 774 | 711 | 672 |
| 40～44歳 | 1,413 | 1,435 | 1,106 | 881 | 777 | 820 | 953 | 896 | 767 | 782 | 718 |
| 45～49歳 | 1,230 | 1,434 | 1,456 | 1,123 | 895 | 789 | 833 | 969 | 910 | 779 | 795 |
| 50～54歳 | 1,029 | 1,216 | 1,418 | 1,442 | 1,112 | 887 | 782 | 826 | 960 | 902 | 772 |
| 55～59歳 | 1,106 | 1,025 | 1,213 | 1,417 | 1,441 | 1,112 | 888 | 783 | 826 | 961 | 903 |
| 60～64歳 | 1,293 | 1,118 | 1,039 | 1,230 | 1,438 | 1,464 | 1,131 | 903 | 796 | 840 | 977 |
| 65～69歳 | 1,059 | 1,283 | 1,112 | 1,035 | 1,228 | 1,437 | 1,465 | 1,131 | 903 | 796 | 841 |
| 70～74歳 | 765 | 1,005 | 1,222 | 1,063 | 992 | 1,180 | 1,384 | 1,411 | 1,090 | 870 | 767 |
| 75～79歳 | 473 | 686 | 909 | 1,114 | 974 | 913 | 1,091 | 1,279 | 1,304 | 1,007 | 804 |
| 80～84歳 | 317 | 388 | 572 | 767 | 949 | 838 | 792 | 946 | 1,110 | 1,131 | 874 |
| 85～89歳 | 110 | 195 | 246 | 371 | 508 | 640 | 574 | 542 | 648 | 760 | 775 |
| 90歳以上 | 51 | 61 | 101 | 141 | 214 | 309 | 415 | 432 | 426 | 469 | 537 |

| 女性 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | 18,548 | 19,346 | 19,978 | 20,488 | 20,902 | 21,194 | 21,315 | 21,350 | 21,304 | 21,113 | 20,774 |
| 0～4歳 | 888 | 878 | 806 | 762 | 769 | 816 | 834 | 836 | 810 | 794 | 789 |
| 5～9歳 | 1,075 | 966 | 955 | 877 | 829 | 837 | 887 | 907 | 909 | 880 | 863 |
| 10～14歳 | 1,177 | 1,121 | 1,007 | 996 | 914 | 864 | 873 | 925 | 946 | 948 | 918 |
| 15～19歳 | 999 | 1,197 | 1,140 | 1,024 | 1,012 | 930 | 879 | 887 | 941 | 962 | 964 |
| 20～24歳 | 920 | 932 | 1,117 | 1,064 | 955 | 945 | 868 | 820 | 828 | 878 | 898 |
| 25～29歳 | 912 | 933 | 945 | 1,132 | 1,078 | 969 | 958 | 880 | 832 | 840 | 890 |
| 30～34歳 | 1,137 | 974 | 996 | 1,010 | 1,209 | 1,152 | 1,035 | 1,023 | 940 | 888 | 897 |
| 35～39歳 | 1,620 | 1,193 | 1,022 | 1,046 | 1,060 | 1,270 | 1,210 | 1,087 | 1,075 | 987 | 933 |
| 40～44歳 | 1,521 | 1,661 | 1,224 | 1,049 | 1,073 | 1,087 | 1,303 | 1,241 | 1,115 | 1,103 | 1,013 |
| 45～49歳 | 1,281 | 1,537 | 1,679 | 1,237 | 1,061 | 1,085 | 1,100 | 1,318 | 1,256 | 1,128 | 1,115 |
| 50～54歳 | 1,115 | 1,314 | 1,577 | 1,723 | 1,270 | 1,089 | 1,114 | 1,130 | 1,353 | 1,289 | 1,158 |
| 55～59歳 | 1,198 | 1,137 | 1,341 | 1,610 | 1,760 | 1,298 | 1,113 | 1,138 | 1,154 | 1,383 | 1,317 |
| 60～64歳 | 1,442 | 1,207 | 1,147 | 1,352 | 1,625 | 1,777 | 1,311 | 1,124 | 1,150 | 1,166 | 1,397 |
| 65～69歳 | 1,029 | 1,446 | 1,211 | 1,152 | 1,360 | 1,635 | 1,789 | 1,320 | 1,132 | 1,158 | 1,174 |
| 70～74歳 | 696 | 996 | 1,403 | 1,178 | 1,122 | 1,326 | 1,596 | 1,747 | 1,288 | 1,105 | 1,130 |
| 75～79歳 | 592 | 685 | 985 | 1,391 | 1,171 | 1,118 | 1,324 | 1,594 | 1,744 | 1,287 | 1,103 |
| 80～84歳 | 444 | 538 | 628 | 909 | 1,292 | 1,093 | 1,048 | 1,242 | 1,495 | 1,636 | 1,207 |
| 85～89歳 | 301 | 372 | 459 | 544 | 797 | 1,144 | 977 | 937 | 1,110 | 1,336 | 1,462 |
| 90歳以上 | 201 | 259 | 336 | 433 | 544 | 759 | 1,096 | 1,193 | 1,226 | 1,345 | 1,543 |

(2) 目標人口達成のためのまちづくりの方向性

先に示した目標人口の達成のため、精華町内に住んでいる人が「住んで良かったまち」と感じられること、精華町外の人が「訪れたい、訪れて良かった、住んでみたいまち」と感じられること目指し、「シティプロモーション」に力を入れていきます。



また、目標人口を達成するため、シティプロモーションの5つの柱である「誘客拡大に向けた情報発信の強化」「地域に誇りを持つ教育の推進」「ふるさとの魅力づくり」「地元産品・観光のブランド力強化」「健康・スポーツによる地域活性化」を基本目標として掲げて取り組んでいきます。

| 目標人口達成のため具体的な取り組み | |
|---|--------------------------------------|
| <基本目標1> 誘客拡大に向けた 情報発信の強化 | 1-1 インターネットメディアなどを活用した「学研都市精華町」のPR |
| | 1-2 けいはんな学研都市を起点とした多様な文化の創造・発信 |
| | 1-3 ICTや広報キャラクターを活用した人にやさしい情報の発信 |
| <基本目標2> 地域に誇りを持つ 教育の推進 | 2-1 「科学のまちの子どもたち」プロジェクトなどの推進 |
| | 2-2 地域公共人材の育成 |
| <基本目標3> ふるさとの魅力づくり | 3-1 地域資源の再発見と集積・整理 |
| | 3-2 豊かな自然環境を活かした交流人口の拡大 |
| | 3-3 京都府や関係機関等との連携によるスマートシティ構想の推進 |
| | 3-4 京都府との連携による「みやこ構想」の推進 |
| <基本目標4> 地元産品・観光の ブランド力強化 | 4-1 「京都・精華町」の歴史や文化を活かした観光の新興 |
| | 4-2 地域資源の観光コンテンツ化 |
| | 4-3 地元産品の販売力向上と販路拡大 |
| | 4-4 新たな特産品などの開発・販売 |
| | 4-5 「お茶の京都」構想の推進 |
| <基本目標5> 健康・スポーツによる 地域活性化 | 5-1 ツアー・オブ・ジャパン京都ステージを契機とした交流人口の拡大 |
| | 5-2 「せいか365プロジェクト」による町全体での健康づくり機運の向上 |
| | 5-3 まち全体を活用した「ヘルスツーリズム」の推進 |

以上